



「エコアイランド北海道」の実現に向けて

3つの心と8つの行動による北海道らしい環境に配慮したライフスタイルを実践し、環境と調和する「エコアイランド北海道」の実現をめざして、北海道としては、道民との協働のもと、次の3つの施策を進めます。

1

道民や事業者をはじめ市町村やNPOなどが連携して、環境にやさしい行動に取り組むことができるよう、この宣言の付属資料「道民・事業者のための環境行動の手引き」を踏まえ、総合的な取組指針となる「北海道環境行動計画」を策定します。

2

森林づくりを通じて地球温暖化防止に積極的に貢献するとともに、水源の涵養をはじめ、野生生物の生息地や私たちの癒しの空間、さらには気候や洪水を調節するなど森林のもつ多様な機能を維持・増進するために、本道の森林をみんなで支えていく新たな森林環境政策を開します。

3

2008年7月に開催される「北海道洞爺湖サミット」を記念して、2008年を「環境行動元年」、毎年7月を「道民環境行動月間」に、さらに、5月、7月、10月、1月の第2日曜日を春夏秋冬の「道民環境の日」として、道民一人ひとりが四季折々の環境行動を楽しみながら実践できるよう全道的なキャンペーンを実施します。

環境と調和する「エコアイランド北海道」づくりに向けた道民総意の着実な環境の取組が、北海道の将来のためばかりでなく、世界における環境保全の地域モデルの一つになることを期待して、この宣言を全世界に広く発信して、世界に、未来に、そして人類に貢献します。

『道民・事業者のための環境行動の手引き』

日常生活や事業活動など日々の行動を「環境に配慮したもの」に転換していくことをめざして、環境行動の必要性を理解し、取組を実践していくための「行動目標」や、その目標を達成するための具体的な「行動メニュー」や「取組事例」などを掲載しています。

【北海道のシンボル】



鳥:タンチョウ



木:エゾマツ



花:ハマナス



北海道の
地勢・気候

- 面積83,456km²、国土の約22%を占める広大な島です。
- 冷涼低湿でさわやかな気候の中、明瞭な四季があります。
- 全道の約7割が森林で、水質良好な河川が豊富です。



豊かで
恵まれた
自然環境

- 世界自然遺産に登録された知床を含む6つの国立公園、5つの国定公園、12の道立自然公園があります。
- ヒグマ、シマフクロウなど、多様な野生生物が生息します。
- 日本初のラムサール条約登録湿地の釧路湿原をはじめ12か所の登録湿地があります。



北海道の
強みと
可能性

豊かな自然の資源

道民一人あたりに換算して全国と比べると、森林面積は約5倍、水資源は約3倍になるほど、豊かな自然に恵まれています。

多様で豊富なエネルギー資源

森林や農産物などの多様なバイオマスを活用した再生可能エネルギー、さらには、風力・雪氷・天然ガスなどの自然エネルギーを利用できます。

北海道の特性に応じた技術の活用

高断熱・高気密の北方型住宅や道路とレールを走るDMV(デュアル・モード・ビークル)など、エネルギーの利用効率を高める技術が進んでいます。また、二酸化炭素排出量を増加させないバイオエタノールやBDFなど輸送用エコ燃料の製造技術の研究開発にも取り組んでいます。

環境と調和した産業の展開

環境に配慮した農林水産業や豊かな自然を生かしたエコツーリズムなどが展開されています。

将来性のある風土と気質

先人の知恵と情熱を引き継ぎ、冬や雪のハンディを克服してきた風土があり、フロンティア精神や開放的な気質を持っています。